

令和5年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

成育小	学校	児童数	116
-----	----	-----	-----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.15	20.46	31.67	33.44	50.71	9.37	151.11	18.24	50.86
大阪市	15.97	18.72	32.66	38.27	45.10	9.50	147.92	20.35	51.13
全国	16.13	19.00	33.98	40.60	46.92	9.48	151.13	20.52	52.59
女子	15.83	17.04	36.46	34.37	36.51	9.79	145.80	11.80	46.80
大阪市	15.88	17.85	37.44	36.49	34.75	9.74	140.20	12.69	48.20
全国	16.01	18.05	38.45	38.73	36.80	9.71	144.29	13.22	50.00

結果の概要

男子は、「上体起こし」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅とび」で大阪市の平均を上回った。また、「上体起こし」「20mシャトルラン」「50m走」は全国平均も上回った。しかし、体力合計点では、大阪市平均を0.27ポイント、全国平均を1.73ポイント下回った。

女子は、「20mシャトルラン」「立ち幅とび」で大阪市の平均を上回った。また、「立ち幅とび」は全国平均も上回った。しかし、体力合計点では、大阪市平均を1.4ポイント、全国平均を3.2ポイント下回った。

質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」で、男子・女子ともに、肯定的な回答の割合が大阪市・全国平均より約10%下回った。

「1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合」は、男子は2.0%で大阪市の平均を10.3%上回り、女子は22.1%で大阪市の平均を3.9%下回った。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

今年度は「走力・持久力」の向上を目指し、体育科の学習でラダーによる準備運動やタグ取り鬼ごっこ、冬の時期にはリズム縄跳びや蒲生グラウンド全面を使った鬼ごっこなど、各学年の実態に応じて実施した。また、運動委員会では「柔軟運動」「遊び」「陸上運動」「なわとび」の4つのグループに分けて取り組みを行った。「柔軟運動」では体育科や家庭で柔軟運動に取り組めるように動画を作成した。「遊び」では生活指導部と連携して15分休みや昼休みの講堂開放、運動場の学年配当を決めた。「陸上運動」では「のびのびラン」として、音楽を流しながら20mシャトルランと同様の運動を3分間行った。「なわとび」では3つのレベルのなわとびカードの中から自分に合ったレベルを選択し、自主的に取り組めるようにした。この4つの取り組みにより、安全に楽しく運動やスポーツを行うための基盤作りができた。その結果、男子は4種目、女子は2種目で大阪市の平均を上回ることができた。

質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」では、男子・女子ともに肯定的な回答の割合が大阪市・全国平均より下回った。校舎建替工事で運動場が狭くなり、運動やスポーツをする機会が少なくなったことが意欲の低下につながったと考える。そこで、狭い場所でもできる運動や一人でも体力の向上が図れる取り組みをしたり、全学年ができる限りたくさん運動をするために運動場の学年配当を見直したりするなど、運動やスポーツをする時間や場所の確保をしていく。